

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

青少年・文教課（内線：7022）

8目 私立学校振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
活力と魅力あふれる 私立学校支援事業	6,066	7,154	△1,088				6,066	
トータルコスト	6,873千円（前年度7,983千円） [正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金の申請書の審査、交付決定、補助金の支払い 等							
工程表の政策目標（指標）	魅力ある私学として持続的に発展するため学校評価制度の改善を行う。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

私立中・高等学校が実施する、生徒の学力向上等を図るために行う家庭・地域と連携した取組及び学校評価を推進する取組に対して助成を行う。

2 主な事業内容

(1) 家庭・地域と学校が連携した学力向上等支援事業

事業内容	所要額	補助率
私立学校の保護者、地域住民、教職員等で組織する検討委員会の開催、同委員会で調査・研究して実施する学力向上等のための事業に必要な経費に対して助成を行う。（平成22年度限り） ○検討委員会を開催 ・生徒・保護者等の意識調査、先進地視察等を行い学力向上策等を検討 ○創意工夫した学力向上等のための事業を実施（事業の具体例） ・有名私立学校長の講演（生徒・保護者を対象）による学習意欲の向上 ・一流講師を招へいた夏季講習により学力を向上 →事業参加者へアンケートを実施し効果を公表	5,250 1校当たり 事業費上限額 1,500千円 ×7校	1/2

(2) 学校評価支援事業

事業内容	所要額	補助率
学校の現状を把握し、学校の良さを生かしながら改善を進める「学校評価」について、より機能的なシステムを構築するためにアドバイザーを招へいする経費に対して助成を行う。（平成22年度限り） 【アドバイザーの役割】 ・自己評価をふまえた学校課題の分析、評価項目について助言 【アドバイザー候補】 ・県外私立学校長（教育内容）、私学関係団体職員（経営内容）など ＊学校評価は、現状をしっかりと把握した上で取り組むべき目標を設定し、その進捗や成果について評価を行い、学校の魅力づくりにつながる「中期的な将来ビジョン」や「経営戦略」の策定を目標とする。 <学校評価の段階> ○自己評価（学校（教職員）が評価） ↓ ○学校関係者評価（保護者、地域の関係者が評価）	816 1校当たり 事業費上限額 544千円 ×3校	1/2